

## 平成18年度「定置用燃料電池大規模実証事業」における助成金交付の決定について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成を受けて実施する「平成18年度第3期定置用燃料電池大規模実証事業」において、本日、33台分の助成金交付の決定を受けました。
2. 当社は、「平成17年度 定置用燃料電池大規模実証事業」において、家庭用燃料電池システム「JOMO ECOCUBE」30台分の助成金交付を受け、昨年すでに設置を完了しております。「平成18年度 第3期 定置用燃料電池大規模実証事業」においては、本年7月上旬頃から来年2月にかけて設置していく予定です。
3. 「JOMO ECOCUBE」の仕様は次のとおりです。
  1. 定格発電容量: 700W
  2. 定格発電効率: 30%以上 (HHV)  
(注) HHV  
Higher Heating Value(高位発熱量)の略。
  3. 定格総合効率: 65%以上 (HHV)
  4. サイズ: (本体)H 895×W 870× D 330(mm)  
(貯湯槽)200リットル
  5. 重量: (本体)125kg
  6. 燃料: LPG
  7. システム提供: 東芝燃料電池システム株式会社
4. なお、当社は、2005年度から2007年度までの3年間に「JOMO ECOCUBE」を150台程度設置することを目標としております。

以上

### ● 【参考資料】「JOMO ECOCUBE」の写真

